

CONCEPT NOTE

BRIDGE Across Asia Conference

-Build Relationship among International Diversities for next Generations Model United Nations Asia Conference-

~高校模擬国連大会を通じたアジア 5 各国での学び合い~
アジア太平洋青少年相互理解推進プログラム

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター



BRIDGE Across Asia Conference

-Build Relationship among International Diversities for next Generations Model United Nations Asia Conference-

1. 背景

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）では、平和で持続可能な社会の実現のため、全国の高校生に対し、国連会議のシミュレーションである模擬国連活動を通して、世界のあらゆる課題について学ぶための教育の機会を提供し、国際社会や地域社会に主体的に貢献できる人材を育成することを目的として、2012年より高校模擬国連推進事業を協力実施してきた。

しかしながら模擬国連の取組に関しては地域間や学校間の差が大きく、未来を担う高校生が模擬国連をきっかけに、地球規模課題に対する意識を高め、国際理解を深める役割を發揮するにあたっては課題を抱えている。これを解決するために、異なるニーズに合わせた柔軟性、多様性のあるプログラムの提供が求められている。

一方、世界保健機関（WHO）から2020年3月12日に「パンデミック」宣言が発出されてから一年が経過した。COVID-19感染拡大に伴い、国内外問わず数多くのグローバルプログラムや国際交流事業が中止および延期という状況に陥っており、高校生に国際社会に触れる機会が大幅に低下している。その中 zoom 等を用いてのオンライン企画が盛んに実施されてきているが、あくまでも従来企画の代替事業であり、参加者がお互いに深く関心分野を共有するところまでには至っていないのが現状である。

そこで、我々は新たにアジア太平洋高校模擬国連大会をオンラインで実施開催することを計画している。アジア太平洋の4か国の生徒とペアを組み、国・地域の垣根を越えた学びあいと交流を通して、多様性に富んだ社会で活躍できる次世代の人材の発掘と育成に貢献していきたい。

2. 目的と期待される効果

a. 目的：

- ・文化的多様性への尊敬をもって国際社会や地域社会に主体的に貢献できる人材の育成
- ・未来を担う高校生が地球規模課題に対する意識を高め、理解を深めること
- ・国内外の参加者の間で友情を育み、相互理解を深めること
- ・意見交流の場を通して、5か国間の関係発展の礎を築く場とすること

b. 期待される効果：

3カ月弱のプログラムを通して、参加者に様々なスキルの向上と意識改革・自信をもたらすだけでなく、その変容が周囲の高校生にも大きな影響を及ぼすことが期待できる。

3. 開催日時・開催場所

開会式及び交流会は 2021 年 8 月 5 日（木）に東京（JICA 地球ひろば国際会議場）、政策発表会は 10 月 10 日（日）に東京（プラザ平成国際会議場）、模擬国連大会は 10 月 17 日（日）に東京（お茶の水トリエッジカンファレンス）にて開催される。COVID-19 感染拡大の影響で残念ながら、アジアの高校生はいずれもオンラインの参加となるが、日本の高校生については、模擬国連大会以外は会場に集合する。

4. 参加者

a. 参加人数：合計 32 名

CEE/KNCU/TNCU/MNCU から推薦を受けたインド・韓国・タイ・モンゴルからそれぞれ 4 名ずつの高校生がオンライン参加し、書類選考で選ばれた日本の高校生 16 名とペアを組む。

b. 参加資格：

- (1) 高等学校に在籍していること
- (2) 全てのプログラムに積極的に責任感をもって参加できること
- (3) プログラム公式言語である英語でコミュニケーションが取れること
- (4) 自宅で zoom 等使用にあたって安定した通信を確保できること
- (5) 参加については、在籍する高校の校長許可を得ていること

c.参加費：

日本人高校生 一人 3,000 円

5. 主催者ならびに協力組織

主催：公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）

協力：公立大学法人神戸市外国語大学

Centre for Environment Education India (CEE)

Korean National Commission for UNESCO (KNCU)

Thai National Commission for UNESCO (TNCU)

Mongolian National Commission for UNESCO (MNCU)

6. プログラムの実施方法

充実した学び合いとなるように、以下の 3 つのアクティビティを設けている。

a. ペア交流

アジアと日本の高校生がペアを組んで zoom/email などを用いて日々話し合い、協働で担当国の情報収集・分析・戦略策定を実施する

b.政策発表会

担当国大使としての政策方針を発表し、他国大使から質疑応答を受ける

c.模擬国連大会

「議題（未定）」について 16 か国大使が議論を交わし、決議案を策定する

7.公式言語

英語

逐次通訳・同時通訳は用意されない

8. プログラム

a.開会式/交流会（日本人生徒は東京集合）

2021年8月5日（木）（13:00-13:15）: 参加受付登録

時間 (JST)	アクティビティ
12:00-13:00	日本人生徒ランチョンミーティング（非公式会合）
13:00-13:30	休憩
13:30-14:00	開会挨拶 プログラムの概要説明
14:00-15:10	全体交流 4グループに分かれて、2回実施する
15:10-15:30	休憩
15:30-16:00	模擬国連大会についての概要説明 議長 公立大学法人神戸市立外国語大学
16:00-16:15	休憩
16:15-17:00	ペア発表 ペア交流
17:00-17:20	今後のスケジュール説明 閉会の挨拶

- ・日本人生徒に関しては、国内のネットワーク創りの意味を込めて、事前に12時に集合し自己紹介・意見交換する。
- ・ペア発表時にあわせて担当国が割り当てられ、ハンドブック及びバックグラウンドガイドが公開される。
- ・参加者は、2021年9月12日までに、最初の1か月間のペア間のやり取りについて、簡単な報告書を提出しなければならない。

b.政策発表会（日本人生徒は東京集合）

2021年10月10日（日）（11:00-11:15）：参加受付登録

時間（JST）	アクティビティ
11:30-12:00	開会挨拶 本日の概略説明
12:00-17:10	政策発表&質疑応答 各チーム プレゼン8分、質疑応答7分 4チーム実施毎（60分毎に）に休憩時間を設定する
17:10-17:50	レビュー 模擬国連大会注意事項説明
18:00	閉会挨拶 終了

- ・ 模擬国連大会とは切り離し、事前に各国の政策方針について理解を深めておくことで、大会当日の論点を整理でき、より具体的で実効性の高い決議案策定に向かって議論されることを目的に実施する。

c.模擬国連大会（全生徒オンライン参加）

2021年10月17日（日）（11:30-11:45）：参加受付登録

時間（JST）	アクティビティ
12:00-18:30	アジア太平洋高校模擬国連大会
18:30-19:00	レビュー
19:00-19:30	参加者交流
19:30-20:00	表彰 閉会挨拶

- ・ 本模擬国連大会（BAAC）は参加者全員にとっての学び合いの場であることを大切にしている。表面的な合意形成ではなく、本来の姿に立ち返るべく、参加者には議論を深めてもらうため、事前に各国の政策方針発表会を実施し、参加者全員の理解を深め、議題の解決策を本大会にて協働で達成する。

9. 表彰

配分	評価項目	スキル
15	a.国を代表する大使として、国の利益を損なうことなく行動していたか	外交力
15	b.論理的な組み立てでプレゼンテーションできていたか	論理力
15	c.他大使の意見を尊重した言葉使い・態度を示していたか	人間力
15	d.合意に向けて世界と協調しつつ各国に働きをかけていたか	影響力
40	e.その他	

政策発表会でのプレゼン質疑応答(a.b.)および模擬国連大会の会議行動(c.d.)に加え、日々のやり取り等 (e.) も考慮に入れ、優秀大使表彰をおこなう。

10.評価

終了後、参加者 32 名の高校生に対してアンケートを実施し、後日報告書を発行する(日・英)。